

クリスマス会

クリスマス会ではそら組がキャンドルサービスをしました。火の神から分けられた火を順番に自分のキャンドルに点けていきます。全員のキャンドルに火が灯るとそのきれいな炎に、温かな気持ちになりました。

その後、お待ちかねのサンタクロースが各クラスに訪れました。サンタさんに聞いてみたいことがたくさん。「どこから来たの?」「どうやって来たの?」と疑問に思うことを質問しました。質問タイムの後には一緒に写真を撮ったり、プレゼントをもらったりと笑顔がこぼれていました。



いちょうの森だより

いちょうの森こども園 園だより No.58



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。
<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和4年1月7日 発行
 いちょうの森こども園 園だより
 桜が丘東3-3-496
 TEL 086 (956) 2022
 FAX 086 (956) 2023

こどもの気持ち

新年あけましておめでとうございます。お正月はいかがだったでしょうか。のんびりされた方、お出かけになった方とそれぞれに楽しまれたことと思います。

我が家は新型コロナのことがあってから、県外のこどもたちの帰省がなくなってしまいました。以前は、こどもたちが揃うと始まるのが“親のあるある話”です。「あの時、〇〇と言われたけど、あの時は…」とその時の自分の思いや、親の一方的な言葉や行動などを語り始めるのです。「それは悪かったね」と謝ることがほとんどです。今になって知るこどもの気持ちも多々ありました。

例えば、息子は「薬を飲めと言われたけど、あの時はもうお腹いっぱい一口の水も飲めんかった」。そのシーンは私の脳裏にも焼きついていました。飲まずにいると体調が悪くなり病院へとなるので、だんだん声を荒らげた時でした。「何で薬くらい飲めないのか」と思う親の思いだけで、一口も飲めない状態のこどもを責めた自分を、今でも恥ずかしくなる思いです。

また、三歳くらいの長女がわがままを言い続けたある夜、「いい加減にしろ」と玄関から外に出して外灯を消しました。泣きながら戸をたたいていたので、「もうわかったかな」と戸を開けると、「どうして私を一人にしたん! 怖かったが! さびしかったが!」と泣きながらも激怒する娘が飛び込んで来ました。

「わがまま言ったことを反省しろ」と思って出した親の気持ちは伝わらないどころか、こどもに寂しい思いだけをさせたことが、今思い出しても情けなくなります。

大人はついつい、自分中心に物事を進めがちですが、ちょっと相手側（こども側）に立ってみるのも必要のようです。我が子から教えられた、今となっては大切な宝物です。

原谷 雅彦



1月

- 7(金) 1号始業式
- 14(金) 誕生会・とんど
- 18(火) もちつき
- 24(月)~28(金) こども懇談 (つき~そら組)
- 26(水) 避難訓練

2月

- 2(水) 参観日(園公開)
- 3(木) 誕生会
- 4(金) 山陽東小学校一日入学(そら組)
- 10(木) 桜が丘小学校一日入学(そら組)
- 15(火) 避難訓練
- 25(金) 新入園児説明会

ちょっと 教えて!

箸の正しい持ち方について紹介します。箸の使用を始める年齢に決まりはありません。発達や発育に差があるようにタイミングもいろいろです。以下のタイミングやサインを目安にしてみてください。

- ① 箸に興味を持っている ② 三指でスプーンやフォークを持つ

また、箸を選ぶ時は「長さ」「材質」に注目してください。箸の長さは「親指と人差し指で直角を作ったとき両指先を結んだ長さの1~1.5倍程度の長さ」と言われています。材質は木製が滑りにくくて、オススメです。

① 正しくえんぴつを持つように、はしを1本持つ。

② 上のはしを「1」の字を書くようにたてに動かす。

③ もう1本のはしを下のはしとして、親指のつけ根と薬指の先ではさむ。

④ 上のはしだけを動かすように練習する。下のはしは動かさない

参考にしてください。

参考文献 『ひかりのくに おたより文例』



足元からポッカポカになった中ず湯でした!



プロッコリーがマイクに変身したり、なりきりあそびではみんなでプロッコリーになったりして、楽しむにじ組です。

発表会

そらぐみ

こども園最後の発表会。劇では、こどもたちの好きな絵本『あらしのよるに』を題材に取り組みました。役になりきるには、どうやってセリフを言ったらいいだろう？と話し合ったり、実際に本物のヤギ（主人公）を見に行き、どんな動きをしているか考えたりして、劇を作り上げました。当日は、今まで練習してきたことを普段の姿で披露できた発表会となりました。卒園に向けてまた一つ大きく成長したこどもたちです。



12月16日（土）に第5回発表会を行いました。保護者の皆様に見守られ、こどもたちは緊張しながらも様々な表情をしていました。こどもたちの成長した姿を見て頂けたことと思います。また発表会を通して、こどもたちにとって自信に繋がりの良い経験になったことと思っています。寒い中でしたが足を運んでくださり、温かい拍手をありがとうございました。

にじぐみ

『おべんとうバス』を題材に表現あそびを楽しみました。全身を使って表現したり、簡単なやりとりなど、普段のあそびの中で楽しんできたことを見てもらったのではないかなと思います。当日は緊張していた様子でしたが、終わって部屋に戻って来た時には、「楽しかった〜！」と言っていたこどもたちです。



ほしぐみ

劇あそびでは『十二支のはじまり』を題材に、ほし組バージョンに少しアレンジをして楽しみました。時々来る『神様からの手紙』では、やりとりを楽しみました。また、「龍って、どんな動きかな？」「どうしたらお客さんにへびって分かってもらえるかな？」など、こどもたちと一緒に考えたり実際にいろいろな動きをやってみたりして「これなら！」という物を決めました。一人ではできない表現も友だちと一緒にすることでできることも経験できました。当日を楽しみにしながら、それまでの活動やあそびも楽しむことを大切に進めてきた劇あそびでした。



表現あそび

ゆきぐみ



頭にバンダナを巻き、手にはコロコロと掃除をする粘着テープに見立てたブロックを持ち、保育室中をまるで掃除をしているかのように練り歩きます。“〇〇に見立てる”ということが少しずつ分かってきているようです。

はなぐみ



『だるまさんシリーズ』の絵本がこどもたちのお気に入りです。「だーるーまーさーんが」と聞こえるとこどもたちが集まってきて、だるまさんのまねっこが始まります。一人始めるとまた一人、とまねっこの輪が広がって読んでいる保育者もにっこの楽しい絵本タイムです。

つきぐみ



絵本『どうぞのいす』の表現あそびを発表しました。当日の朝も椅子の上に嬉しいプレゼントがあり、「うさぎさんがくれたのかな？」と楽しみな気持ちで出番を迎えました。いつも以上に張り切っている姿を見て、友だちと一緒になら安心して表現することができるようになったんだな、と嬉しく思いました。